

icvss magazine

June 8, 2020 vol.5



朝日新聞社主催 「大学SDGs ACTION! AWARDS 2020」 ファイナリスト賞を受賞!

「性別なんかで判断されたくない！
新しい履歴書及びエントリーシートを作ろう！」

お力添え頂いた皆様、
また応援や意見をくださった皆様、
ありがとうございました！

目次

- ・ ジェンダー問題に関するインタビュー
#エチオピア #イギリス #南アフリカ
- ・ 活動報告
- ・ 新入生募集&説明会に関して



ジェンダーに関するインタビュー

icvssでは、ジェンダー平等を目指し、活動しています。そこで、留学していた学生や、海外の学生に聞き取りを行いました。

Q1. 留学先・期間は？

2017年の9月からイギリスの北部にあるニューカッスルという田舎よりの街にある大学に1年間留学していました。

その留学期間中に日本のジェンダー問題を認識しました。イギリスでは、性別などではなく個人として扱われている気がしました。意見を求められる機会が多かったです。それに比べて日本は、男性が女性をモノとして扱う風潮がある気がします。



イギリス留学
木村レミさん



01

Q3. ジェンダー問題において国ごとに差が生まれるのはなぜだと思いますか？

日本のジェンダー問題解決への動きが世界に比べ遅れているのは、歴史、文化、人の気質などの違いもあるけれど、日本人は変化を恐れるから、問題発信をしないし、自分の意見を言わないことが原因だと思います。自分たちに関して無知、無関心、興味が薄いのだと思います。

Q2. 大学やその周辺で、何かジェンダー問題に対する取り組みなどはありましたか？

女性たちが集まってフェミニズム運動をしている団体がありました。具体的な内容はあまりわかりません。ただ、元々は男女平等を目標としていたのに、女性優位を訴えるものになってしまっているのを見ると違和感を覚えます。

Q4. どうしたら解決できると思いますか？

ディスカッションを行う機会を増やすべきです。イギリス人はディスカッションを楽しむ風潮があるから、社会問題などに関しても話し合う機会が多いのかもしれませんが、いろんな人の意見を取り入れることで多様性が生まれるのではないのでしょうか。

エチオピア出身
メサイさん

(政府投資局官僚、
関西大学法学研究科生)



Q1. 日本に来たきっかけは何ですか？

ABEイニシアティブの制度で2018年8月に日本に来ました。

* ABEイニシアティブとは、2013年から始まったアフリカの若者に対する産業人材育成支援の事です。

Q2. 日本にジェンダー問題があると思いますか？

ジェンダー問題は日本に限ったものではなく、いたるところに存在する女性の権利問題だと思います。それには、長い間男性が家のトップであったという歴史的な背景があると思います。近年は、女性が社会に出て働くようになってきたが、歴史的な背景が長いので、すぐに現状が変わるのは難しいと思います。

Q3. どうすればジェンダー問題は解決すると思いますか？また、解決するためにできることは何だと思いますか？

政府が責任をもって解決しようとするのが大事だと思います。歴史的な背景があるためすぐには解決しないと思うので、まずは家族単位で理解を深めていくことが重要であると思います。そして、それぞれがジェンダー問題を無くすという責任と自覚をもつことを続けられれば、時間はかかるが少しずつ解決していくと思います。

JICAの「ABEイニシアチブ」で
来日、本学大学院卒業。

**Q1. ジェンダー問題に関する活動を行って
おられますが、それを始めたきっかけはな
んですか？**

理由はいくつかあります。

1991年にアパルトヘイト関連法撤廃などの
変化や1997年に新憲法が発効されたこと、
男女関係なく平等にという教えを家族から
受けており、自身も平等であるべきと考
えていたこと、また教えに対し家族以外
の人々が皆平等にしているわけではないと
知ったときに、ジェンダー問題をどのよ
うに法に基づいて解決できるのかというこ
とに興味を持ったことです。

**Q2. 南アフリカで体験したジェン
ダー問題はありますか？**

とても優秀で仕事の出来る
女性が妊娠したため同僚たち
とお祝いしたけれど、上層部
の人たちは「子供に手が取ら
れることになる（子供を優先
するようになる）」と、その
女性が上の立場へ昇進するは
ずだった道を無しにしたこと
がありました。こんなことは
おかしいが、世代ごとの考え
を変えることは難しいです。

法律があっても、ちゃんと機
能しきれていません。



日本は20年遅れている...？

**Q3. 日本で感じるジェンダー問題はあ
りますか？**

あります。南アフリカもまだジェンダー
平等を達成する途中ですが、**日本はさらに
20～30年遅れています。**例えばデートの
際に男性が支払いをすることなどは、日本
の文化も強く影響していると思います。

日本の文化は素晴らしいし失ってほしく
ありませんが、女性の権利となると変えな
ければなりません。

日本の女性、男性それぞれの奥に隠れて
いるマインドセット（意識や考え方）を変
える必要があります。

**Q4. 最後に、ジェンダー問題を解決するた
めに学生ができることは何でしょうか？**

このような問題について皆で議論するこ
とです。特に、公的に行う場をもっと増や
すべきです。女性男性ともに、常に「な
ぜ？」と問いかけるところから始める必要
があります。

日本人には人種的な『本音』と『たてま
え』があって、そのような文化はビジネ
スや互いのためにも尊重されるべきです
が、平等のこととなれば受け入れてはい
けません。変化させることは簡単ではな
いし、人々から変人だとみられるだろ
うけれど、それは人々や社会にとって、と
ても価値あることだと思います。たどり着
くまでの道のりは辛くしんどいが、ずっと

し続けること
に意味があり
ます。
途中であきら
めないで。
頑張ってください。



ジェンダー平等に向け、履歴書
およびエントリーシートの改正を
目指しています。

それらの作成に当たって、みなさ
んからのご意見をお寄せください。
ご協力よろしくお願ひします。



QRコードを読み込んで、
回答よろしくお願ひします。

icvss

icvssが直近でしてきた活動まとめ
#ジェンダー平等 #ワークショップ
#フェアトレード #学園祭
#メンバー募集!



ジェンダー平等ディスカッション

1月15日3限の時間にMi-roomにて「身の回りのジェンダー問題について話し合おう! ~日本の性差別って何がある?~」というイベントを開催しました。

理系の学部の方や、留学から帰ってきたばかりの方などが参加してくださり、日本のジェンダーについて思うこと、留学先で経験したこと、過去の経験から考えたことなど、

日本の性差別や、これから日本がどうなっていくべきかについて意見を交わしました。また、事前にアンケートをとったので、関大生のジェンダーに対する考えや感じ方も知ることができ、ディスカッションの場をより有意義にすることができました。

今後もこのような場を設け、より多くの学生がジェンダー平等を考え、それに一歩でも近づけたら良いと思います。



ワークショップ参加!

今年スタートした関西大学のSDGs海外短期プログラムのプレセッションとして開かれた、ジェンダーに関するワークショップに参加しました。

海外留学経験者と関西大学への留学生が、海外や日本で感じたジェンダーイシューを、

これから海外短期プログラムに旅立つ学生たちにシェアしました。



フェアトレードカレー



11月に行われた関西大学学園祭では、フェアトレードのカレースパイスからつくったオリジナルスープカレーを販売しました。

何度も試作をくりかえし完成したスープカレーは、関西大学に香ばしい香りを漂わせ、具たくさんで温かいスープになり、たくさんのお客さんに喜ばれました。ありがとうございました。



icvss説明会開催!

「国際協力を関西大学に広めたい!」「SDGsのジェンダー平等について何かしたい!」など、少しでも心が動いた方は、ぜひお越しください! 詳細は国際部の各種SNSにてお知らせするので要Check!!!